記者発表資料

令和５年８月３１日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所

土木技術者を目指す大学生が実体験を通し砂防を学びます。
～『キャンプ砂防 2023 in月山』開催 ～

新庄河川事務所では土木技術者を目指す全国の大学生を対象に「キャンプ砂防２０２３in月山」を開催します。

本年度は「土木現場体験、地域で活躍する方々とのふれあいを通じ砂防事業と地域の暮らしを知る」をテーマに掲げて実施予定です。

大学生には、就業体験を通じ地域を守るために続けている砂防事業への理解促進と共に地域防災の担い手として活躍する土木技術者の役割について学んでいただきます。

なお、東北地方では唯一新庄河川事務所で開催しています。

記

１．実施期間：令和５年９月４日(月)～９月８日(金)
２．実施内容：別紙のとおり
３．キャンプ生：秋田大学１名、岩手大学１名、東京農工大学１名、
　　東京都市大学１名　　計４名
４．そ　の　他：実施期間中、取材を希望される報道機関の方は、事前にお問い合わせください。

＜発表記者会：山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会＞

＜問い合わせ先＞

■国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所（TEL 0233-22-0251）

副所長(砂防)　窪田(くぼた)　敏一(としかず)

建設専門官　高橋(たかはし)　弘秋(ひろあき)

キャンプ砂防2023in月山

～現場体験、地域体験等を通じ砂防事業と地域の暮らしを知る～

＜実施日程表（案）＞

月日 ＼ 時	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	備考
分	30 45	0 15 30 45	0 15 30 45	0 15 30 45	0 15 30 45	0 15 30 45	0 15 30 45	0 15 30 45	0 15 30 45	0 15	
9月4日（月）						受付 オリエンテーション 【開校式】 《移動》 ①【地域学習】 ・新庄の歴史・文化 （新庄ふるさと歴史センター） 《移動》 課題（事務所長） ②【学習】 ・砂防事業の概要（事務所大会議室） 砂防副所長 （新庄市内）				宿泊（新庄市内）	
9月5日（火）	《移動》 立谷沢川合流点待ち合せ 《移動》 ③【現場体験】 ・荒廃が激しい環境下での砂防事業 （池ノ台崩壊地・濁沢第4砂防堰堤左岸） ・UAV操作体験（濁沢第8砂防堰堤） 《移動》 （昼食） ・羽黒山麓 《移動》 ④【地域学習】 ・立谷沢川の歴史と文化 （出羽三山歴史博物館：渡部学芸員） 立谷沢川砂防出張所管内 （庄内町）								《移動》		
9月6日（水）	《移動》 ⑤【現場体験】 ・地すべり観測体験（孔内傾斜計観測・集水井点検カメラ） 《移動》 （昼食） ・レストハウス花笠 《移動》 ⑥【現場体験】 ・志津地区地すべり対策 （排水トンネル・集水井工事） ・地すべり変状（中沼沢川ブロック） 寒河江砂防出張所管内 （西川町）								《移動》		
9月7日（木）	《移動》 ⑦【地域学習】 地域活性化に向けた取り組み （大蔵村長） 《移動》 ⑧【現場体験】 様々な砂防堰堤の利活用 ・堰堤を利用した小水力発電 ・登録有形文化財（肘折砂防堰堤） 《移動》 （昼食） ・道の駅 「しょうない」 《移動》 ⑨【現場体験】 ・ICT技術を活用した砂防工事 ・Con打設・型枠組立体験 （十座沢砂防堰堤工事） ・女性技術者との交流 ⑩【地域学習】 田麦俣地区に残る「多層民家」 《移動》 最上南部流域治水出張所管内 （大蔵村） 赤川砂防出張所管内 （鶴岡市）										
9月8日（金）	⑪ 若手職員との懇談会 【自習】 ・レポート作成 ⑫【ディスカッション】 ・成果、感想等 （大会議室） ※事務所長 【閉校式】 （新庄市内）										

※実施日程表（案）の内容は場合によって変更になることがあります。

※□箇所は、当事務所の主な現場体験箇所です。なお、⑧の現場体験は、工事状況によって体験内容が変更となります。

※1日2回程度キャンプ砂防の内容をtwitterにて発信してもらいます。

キャンプ砂防2022 in月山 ～現場体験や地域体験を通じ「砂防事業と地域の暮らし」を知る～

■実施日：令和4年9月5日（月）～9月9日（金）

■参加学生　4名
（岩手大学、東京農工大学、筑波大学）

■主なカリキュラム
1日目　開校式、地域学習（新庄の歴史と文化）
2日目　現場体験（UAV操作体験ほか）、施設見学（六淵砂防堰堤（登録有形文化財））
3日目　現場体験（地すべり観測体験、若手技術者との交流）
4日目　現場体験（砂防堰堤の利活用）、地域体験（間伐作業体験）

実施状況


現場体験：濁沢池ノ台崩壊地視察


現場体験：UAV操作体験


現場体験：若手職員・技術者との交流


現場体験：志津地区排水トンネル


現場体験：地すべり観測体験（孔内傾斜計）


現場体験：砂防堰堤を利用した小水力発電


地域体験：間伐作業体験


現場体験：ツイッターによる投稿の様子

《参加した学生のコメント》
- 現場体験を通じ、砂防事業の現場で働く人の地域を守りたいという思いが伝わってきた。土砂災害から人命を守る仕事に魅力を感じた。
- 砂防に関して講義で学んでいるが、様々な現場を実際に体験することで、土砂災害に対して砂防事業が果たす役割の大きさを実感するとともに事業を行う必要性を学ぶことができた。
- ツイッターの投稿に初挑戦した。自分が伝えたい情報を、短い文章で適切に発信することの難しさや重要性を学ぶことができた。
- 砂防堰堤を利用した小水力発電を行っている現場や、登録有形文化財に指定されている砂防堰堤を見学させてもらった。砂防堰堤が防災の面以外にも地域に有益な活用方法があることを学ぶことができ、勉強となった。